

Satsumasendai City Public Relations

# 薩摩川内

広報

さつませんだい

6

June.2023  
vol.448

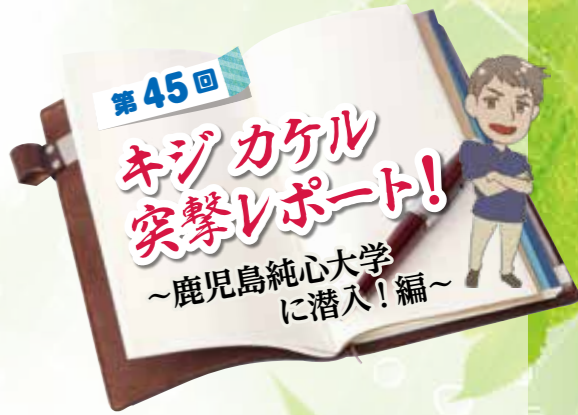


友だち  
募集中



自治体広報紙配信  
アプリ「マチイロ」  
ダウンロード  
はこちら





本市唯一の大学である「鹿児島純心大学」。今年度から男女共学になりました。そこで今回は、鹿児島純心大学に潜入取材してきました。大学生の様子、地域とのかかわりなど魅力をご紹介します。



**新しいスタート**  
市の誘致を受け、平成6年に設立された鹿児島純心女子大学。今年の4月から男女共学となり、鹿児島純心大学に名称変更しました。今年は15人の男子学生が入学したそうです。

**「純心」の意味**

「学園を聖母の汚れなきみ心に奉獻し、聖母のように、神様にも人も喜んでいただける女性を育てたい」と考えて、聖母の汚れなきみ心、すなわち「純心」という名の学園を創立しました」と、学園の創立者江角ヤス先生は、純心という名前について述べています。  
「大学といえは、専門的な知識を身に付けること」というイメージがありますが、鹿児島純心大学では特に、人を想う人間性を育てることを大切にしているそう。確かに、潜入取材をしている際、すれ違う多くの学生が挨拶してくれたり、売店の営業時間が分からず困っていたら、声を掛けてくれたり、快く取材に応じてくれるなど、人の温かさを感じました。



**毎日が楽しい!**

今回は、学生会長を務める久保美紀さん(健康栄養学科3年)にお話を聞くことができました。



もともと料理をするのが好きで、中学生の頃、職場体験で幼稚園に行ったとき、子どもたちがおいしそうに給食を食べている姿を見て、「子どもたちのために給食をつくりたい!」と思ったそう。そのためは、管理栄養士の資格が必要だったので、調べてみると、近くの鹿児島純心女子大学で学べることを知り、受験しようと思ったそうです。「実際に入学してみると、先生たちがいつも丁寧で優しく、大学のことでなくても丁寧で優しく、大学のことだけでなくプライベートなことまで相談できる環境なので、入学して良かったと思います」と話します。  
学生生活について尋ねると「毎日が楽しい!」と笑顔で答えてくれました。

「今日は午後空いているから、市内のカフェ巡りするが!」と、友達と出掛けたり、調理実習で、仲間と試行錯誤したりと、限られた時間の中で人と関わることを楽しんでいるようです。



▲チャペルの外観と内観  
学生が心を休めるために訪れることもあるみたい。

※選択食とは、学生が決めたテーマに沿って考案・調理した2種類の献立を食べる人に選んでもらうこと。



▲七夕にちなんだ選択食  
※写真は令和2年のもの

Q. 学内の好きな場所は?  
○学食です。特に、カレーうどんがおすすめです。特に、カレーうどんがおすすめです。そこにいるだけで落ち着きます。

**遠いようで近いんです**

これまで「身近にあれば、よく知らなかった」と感じていた方もいらつしやるのではないのでしょうか。

今回の潜入取材で、一般開放している学食や地域とのかかわりなど、地域に根差した大学であることを知ることができました。また、取材中に感じた学生の思いやりや積極性はまさに、「人を想う、人と輝く。」姿でした。

次のページ「人のとなり」では、学長の思いをご紹介します。

**実は気軽に立ち寄れます**

大学は近くにあるけれど、入ったことがない。そんな方が多いのではないのでしょうか。実は、学生が否が関係なく、気軽に立ち寄れる場所があるのです。

**○学食**

令和4年にオープンした学食 Campus Kitchen Koco。日替わりランチのメニューはその日のお楽しみで、カレーライスは鹿児島純心大学だけのためにブレンドされた特製カレーなのだそう。学食は通常、(月)~(金)の11時30分~13時30分で営業しています。一般開放しているので、学生や教職員でなくても食事ができます。



▲日替わりランチ (取材の日はチキン南蛮) ▲野菜カレーライス

**地域とのかかわり**

鹿児島純心大学では、地元イベントへの学生参加、地域産業界との共同研究などを通じて、地域との交流を深めているそうです。その一部をご紹介します。

**○純大Radio Campus**

コミュニティ放送局「FMさつまさんだい」において、3学科の先生がリレー出演する番組を放送しています。教職員の専門分野を知り、身近に感じてもらいたいとのこと。毎月放送しているのだとか。  
放送は、第3金曜日18時40分、第3土曜日18時45分です。(第3土曜日は再放送)  
コミュニティFM向け配信アプリ「FM++」でも放送を聞くことができます。



▲FM++ダウンロード先

**○地元の特産品を使ったスイーツ共同開発**

本市地域おこし協力隊×市内の洋菓子店×鹿児島純心女子大学生で市の特産であるキンカンと県の特産であるお茶を使ったフィナンシェ「しっとりキンカン」や「しつとりんかん」や「しつとりんかん」を開発したこともあるんだそう。



▲打ち合わせの様子

この他にもさまざまな形で地域とのつながりを大切にしています。実

**大学生を直撃!**

学内を回っていると、授業の空き時間に勉強をしている学生が、その声を掛け、インタビューしてみたい。

インタビューに答えてくれたのは、健康栄養学科に通う3年生のお2人。

**Q. 学生生活で楽しいことは?**

○調理実習です。特に、給食を100食作る実習が好きです。選択食やアレルギー対応食など、いろいろな種類があって、学科のみならず一生懸命考案する時間がすごく充実しています。

Q. 実際に入学してみよう?  
○正直まだ雰囲気慣れないけどこれからは慣れていけたらと思います。  
○男子校出身だったけど、意外と伸び伸びできています。どんな環境でも順応できるのかも思いました。  
○もっと男子学生が来てくれたら嬉しいです。  
入学したばかりで、戸惑いながらも元気いっぱい答えてくれました。

# 人のとなりに

山口 明美さん



本市唯一の大学である  
鹿児島純心大学。平成6年  
の開学以来、女子大学とし  
て歩んできましたが、令和  
5年4月から男女共学とな  
りました。  
今回は教職員や地域の方  
と共に学生を育てる学長の  
思いに寄り添います。

「人のとなりに」とは…  
文字通り、その人の隣にいて、思いに寄  
り添うことや人柄を表す言葉「人となり」  
をイメージしたコーナーで、人物や活動の  
紹介だけでなく、その人の思いにスポット  
を当てることを目的としています。



笑顔の山口学長と  
入試広報課の小川徹見さん

# 薩摩川内市で暮らす ～移住・定住制度が新しくなりました～

【申請・問合せ】本庁企画政策課地域デザイン・移住定住グループ（内線4852、4853）

- ▼本市では、少子化や進学・就職に伴う若年層の市外転出により人口減少が進む中、移住・定住による人口の増加は重要なテーマです。
- ▼そこで、地域に増える空き家を移住者向けの住宅に活用したり、子育て世代の移住を促進することを目的に、令和5年度から新しくなった移住・定住制度を一部紹介します。
- ▼**空き家を移住者向けの賃貸住宅に活用するための補助制度をリニューアルしました**
- ▼「地域移住促進事業補助金」により、増える空き家を活用して移住希望者が移住しやすい住環境の整備を促進します。
- ▼**補助概要** 〓空き家を活用して移住者向けの賃貸住宅に改修する活動に補助します。事業完了後に入居者が不在の場合は市の空きバンクへの登録が必須となります。
- ▼**補助対象事業** 〓空き家の改築またはリフォーム、家財道具の処分工事費など50万円以上のもの（ただし、家財道具処分のみの場合3万円以上のもの）
- ▼**補助対象地域** 〓甕島区域、樋脇地域、入来地域、東郷地域、祁答院地域、川内地域の一部地区（平佐東、水引、峰山、滄浪、寄田、八幡、城上、吉川、陽成、湯田、西方）
- ▼**申請方法** 〓提出書類に必要事項を明記の上、企画政策課へ直接お持ちください。
- ▼その他、詳しくは、市ホームページをご確認ください。



▲地域移住促進事業補助金について

**小学生の頃からの夢「教師」**  
「塾があまりなかった時代に、学校以外で勉強を教えてくれたのは両親でした。その教え方がとてもわかりやすく、自分もいつかこんな教え方ができたらいいなという思いがいつしか「教師になりたい」という夢になりました」と話すのは、鹿児島純心大学で学長を務める山口明美さん。  
ただ、大学の教授になることは全く想定していなかったそうで、大学を卒業して初めて勤務したのは、鹿児島純心女子中学校。その後、姉妹校を転勤し長崎や東京の中学・高校で計23年間教えていました。  
転機は、当時の鹿児島純心女子大学で改組があった時。小学校教員養成を始めることになったこの大学から声が掛かり、初めて薩摩川内市へ。そして、初めて大学生への授業。それから、16年が過ぎました。

**学長室をノックする音で**  
学長室の扉を開けると、そこには学生が立っていることも。学長室でのおしゃべりで、学生の困り事を直接聞けるのですぐ対応できたり、悩み事についての相談にも乗ったりするそうです。  
学生と先生の距離が近く、直接話を聞くことが、学生の思い

**男女共学へ**  
「コロナ禍で若者の自己肯定感の低下や自死率の高さ、多様な価値観が求められる社会が後押しとなった。いろいろな人と仕事をし、人生を歩むことが求められる中、今、男女共学にする必要があると感じた。」  
また、本学の「人を想う、人を愛する、人を大切にすること」

に寄り添うことにつながります。「若い方の新しいことをどんどん吸収し、変化し、成長していく姿が自分にとってエネルギーとなっている。この現場にいられて本当に幸せ」と語ります。  
また、学生には、「鹿児島純心大学の地に根を張り、しっかりと養分を吸収し、豊かな人間性を育ててほしい。まず『心』を育て、それを土台として専門的な知識を身に付けてほしい」と。

**「人を想う、人と輝く」**  
「自分自身を大切にすることができ、周りの人も大切にすることができ一緒に輝ける、そういう生き方を学生と共に続けていきたい、そういう生き方をする学生を育てていきたい。」  
卒業しても、自分も輝きつつ、同時に、どこにいても『地球家族の一員』として、世界で貢献できるようなキラキラと輝ける生き方をしてほしい」と。

**地域の方たちへ**  
「地域の方に大変お世話になっている。留学生のために自転車を準備していただくなど、温かく対応していただいている。お礼を申し上げます。」  
学食や図書館などを開放し、学祭の場でも地域とつながってきたい。大学として専門的な情報を提供しながら、困ったことがあればいつでも動けるフットワークの軽さで関わってきたい」と話してくれました。

**学生と関わっているときが一番うれしい**  
以前、チャペルでの授業を行う際、始まるまで一番前の席で前を向いて座っていると、学生がわざわざ回り込んで来て顔を合わせ挨拶してくれたそうです。「そのような行動は学校生活や家庭での教育で染み付いている。そういう学生がこの大学に入ってきてくれるのだと感じる」と。  
「高校まで欠席がちな学生も4年間で、笑顔を見せ、積極的になっていく。一人一人が成長するスピードは違うから、急がず待ちたい。」  
そんな思いを胸に、今日も山口学長は教職員や地域の方と共に学生を見守ります。

- ▼**子育て加算を新設しました**  
令和5年4月1日から令和8年3月31日までに本市へ転入し、「定住促進事業補助金」において、定住のための住宅を新築・購入された方、またはリフォームされた方で一部の地域を対象に、子育て加算を新設しました。子育て加算は、転入時に中学生以下を帯同する世帯を対象に、1世帯当たり50万円を補助します。
- ▼今回紹介した制度以外にも、将来の地域を担う若者や子育て世代の豊かな暮らしをサポートすることで定住を促進する各種助成制度を設けています。
- ▼詳しくは、移住・定住に関する助成・支援ページをご覧ください。



▲市「移住定住支援」サイトについて



▲市「移住定住支援」ホームページ

**先輩移住者の声**  
大阪から祁答院地域へ移住された方にインタビューしました。

▼**移住のきっかけは？** 〓今までは、夜中にもネオンが輝く場所に住んでいたのですが、知り合いが住む薩摩川内市を訪れた際、自然豊かでのんびりできる雰囲気惹かれたことです。

▼**市の印象は？** 〓人が優しいです。子どもが横断歩道を渡った後に挨拶する姿が素晴らしいと感じました。

▼**本市での生活の展望は？** 〓仕事を通して、移住者の視点で気づいた良いところを発掘・発信していきたいです。若者が生活していく上で、意識の持ち方次第では、都会よりチャンスが多いかもしれません。



〓**薩摩川内市定住支援センターより**〓  
移住・定住に関する各種相談や助成制度の利用などについてお手伝いします。  
まずはお気軽にお電話ください。  
0120-420-200

# 国民年金に加入中の皆さん 「免除・猶予」制度についてご存じですか？

▶本庁保険年金課国民年金G(内線2821)または各支所、甌島振興局  
▶川内年金事務所 ☎(22)5276

※国民年金の加入対象者は、20歳以上60歳未満の農業者・自営業者・学生・無職の方などです。

○国民年金は自分には関係ないと、保険料を未納にしていますか。  
○保険料を未納のままにしていると将来的に老齢基礎年金や障害、死亡といった不慮の事態で、年金を受け取れない場合があります。そのようなことにならないよう、保険料を納めることが難しい方は「免除・猶予」制度を利用しましょう。  
※保険料の納付期限から2年を経過していない期間(申請時から2年1カ月前までの期間)についてはさかのぼって免除などを申請できます。

## 国民年金の保険料を納めることが難しい方に知ってほしい4つの制度

### 経済的に保険料が納められない方に「申請免除」制度

収入の減少や失業などにより保険料を納めることが経済的に難しい場合、保険料の全額または一部が免除

### 50歳未満の方に「納付猶予」制度

50歳未満の方(学生以外)で、保険料を納めることが経済的に難しい場合、保険料の納付が猶予

### 20歳以上の学生の方に「学生納付特例」制度

学生で前年所得が基準以下の場合、在学期間中の保険料の納付が猶予

### 「産前産後免除」制度

「保険料が免除された期間」も保険料を納付したものととして老齢基礎年金の受給額に反映(平成31年2月1日以降の出産が対象)

※「免除・猶予・学生納付特例」制度の申請や年金の給付についての、詳細な条件や必要書類については、日本年金機構ホームページ「年金の制度・手続き」をご覧ください。



▶日本年金機構ホームページ



大会マスコットキャラクター「かごまる」

# 47の結晶 桜島の気噴にのせ 続け文化の1ページ

全国高等学校総合文化祭は、昭和52年の第1回大会から、全国の都道府県を持ち回りで開催している高校生の芸術文化活動の祭典です。今回の「2023かごしま総文」は、47都道府県の一巡目を締めくくる記念の大会になります。  
19ある規定部門のうち、本市では「書道」「吟詠剣詩舞」の2部門が開催されます。舞台発表や作品展示の観覧は自由に行えます。舞台発表については、一般席に限りがあるため、入場制限をする場合があります。(日程などは左表の通りです。)

| 日時                       | 部門    | 会場             | 内容                 |
|--------------------------|-------|----------------|--------------------|
| 7/30(日)~8/3(木)<br>9時~17時 | 書道    | サンアリーナ<br>せんだい | 作品展示<br>※最終日は15時まで |
| 7/31(月)<br>10時15分~17時10分 | 吟詠剣詩舞 | SSプラザ<br>せんだい  | 各県代表チームによる舞台発表     |

▲部門スケジュール

## 書道

書道部門では、各都道府県から推薦、選抜された優秀作品、約300点を展示します。「漢字、仮名、漢字仮名交じりの書、篆刻、刻字」と、あらゆる分野に広がる、高校生の情熱を感じる作品群はまさに圧巻です。  
また、県内各地区の書道部員による、地元愛あふれる企画展も同時開催、積み重ねられた努力による、全国トップレベルの構成と豊かな感性の表現が魅力的です。



▲書道部門生徒実行委員によるプレ大会  
※プレ大会とは、正式な大会の前に行われる大会のこと

「けんぶ」扇を用いて舞う「詩舞」を総称した日本の伝統芸能です。  
県からは今回、2023かごしま総文を機に、新たに部活動として取り組みを始めた高校生も加わり、合同で代表チームを組んで出場し、練習を重ねた成果を披露します。  
広報薩摩川内3月10日号「人のとなり」には、吟詠剣詩舞部門の生徒実行委員長を務める大久保さんの大会への思いなどを掲載しています。



▲プレ大会で演舞する県合同チーム

## 吟詠剣詩舞

吟詠剣詩舞とは、漢詩や和歌を独特の節回しで吟じる「吟詠」と、剣を用いて舞う

今回は、書道部門の生徒実行委員会に属する川内高校3年生の割子田さん、藤村さんに大会への思いを聞きました。  
割子田さん  
大会がスムーズに行われ、参加される皆さんが力を発揮できるよう、サポートを頑張ります。  
藤村さん  
参加される方々が、鹿児島島に来て良かったと思っていたら嬉しいよう、全力で盛り上げます。



▲2023かごしま総文ホームページ



▲広報薩摩川内3月10日号「人のとなり」

県内の高校生たちが、2023かごしま総文を盛り上げようと、真剣に取り組んでいます。  
詳しくは、2023かごしま総文ホームページをご覧ください。

# VOL.21 防災トピックス

## 出水期の前に 備蓄品を確認し準備しておくことが大切です

### 備蓄品を準備していますか？

災害が発生したとき、電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まってしまう可能性があります。災害発生から72時間が重要とされており、命を守るアイテムとして、普段から飲料水や非常食などを備蓄することが大事です。

- 品を無理なく・無駄なく準備しましょう。
- ※ローリングストック法とは
- ① 普段使う食品の中で、保存期間の長いものを少しずつ買い足し、準備します。
  - ② 備蓄品のチェックリストなどを作成し、賞味期限の近いものから消費しましょう。
  - ③ 消費した分だけ買い足します。※①へ戻る

どのくらい準備が必要？



① 備える

② 食べる

③ 買い足す

### 備蓄品や避難に備えて準備するもの(例)

- 飲料水、□ 食料品、□ 薬(お薬手帳)・衛生用品、□ 懐中電灯、□ 携帯ラジオ、□ 予備電池、□ 携帯電話などの充電器、□ 衣類、□ 防寒具、□ 携帯トイレなど
- ※避難するときは貴重品も忘れないようにしましょう。



# 令和3年度決算に基づく本市の財務書類を作成しました

問合先  
本庁財政課財政G(内線4722)

【総務省が示す「統一的な基準」に基づく本市の財務書類】

この財務書類は、市が所有する財産・債務・コストなどの状況を把握し、今後の財政運営に役立てることに、市民の皆さんに提供することを目的として作成しています。収入・支出の状況だけでなく、市が整備してきた道路などの資産や借入金などの負債の状況、減価償却費などの状況も示しています。財務書類のうち、主に市の業務と関連のある下図の関係団体を含めた「連結財務書類」についてご案内いたします。

### 用語解説

- ◆資産Ⅱ市が保有する建物や道路などの財産のこと
- ◆負債Ⅱ市が今後支払いを必要とするお金のこと
- ◆純資産Ⅱ資産から負債を除いた金額のこと
- ◆減価償却Ⅱ固定資産の経済的価値が時間の経過や使用によって減少していくことを「減価」といい、定められた耐用年数に応じ、費用を配分して計上する仕組みのこと

## 令和3年度決算 薩摩川内市の 連結財務書類

令和3年度末における連結後の資産総額は、土地や建物などの有形固定資産の減少などにより、前年度より30億円減の2504億円となっています。

また、将来負担しなければならぬ額(負債)も1年以内償還予定地方債などの流動負債の減少などにより、6億円減の710億円となっています。

一方で、福祉サービスやごみ収集などの資産を形成しない行政サービスの提供に費やした経費(経常経費)は、物件費などの業務費用、補助金などの移転費用とも前年より減少したこと、80億円減の903億円となっています。

### ①連結貸借対照表

| 借方<br>資産の部   |            | 貸方<br>負債の部    |            |
|--------------|------------|---------------|------------|
| 固定資産         | 2,292.3 億円 | 固定負債          | 638.1 億円   |
| 有形固定資産       | 2,195.6 億円 | 地方債など         | 442.0 億円   |
| 事業用資産        | 1,216.1 億円 | 長期未払金         | 10.1 億円    |
| インフラ資産       | 937.7 億円   | 退職手当引当金など     | 186.0 億円   |
| 物品           | 41.8 億円    | 流動負債          | 72.2 億円    |
| 無形固定資産       | 0.3 億円     | 1年以内償還予定地方債など | 58.2 億円    |
| 投資その他の資産     | 96.4 億円    | 賞与等引当金        | 5.9 億円     |
| 基金           | 83.0 億円    | 未払費用など        | 8.1 億円     |
| 出資金など        | 13.4 億円    | 負債合計          | 710.3 億円   |
| 流動資産         | 211.5 億円   | 純資産の部         |            |
| 現金預金         | 91.9 億円    | 固定資産等形成分      | 2,384.9 億円 |
| 基金(財政調整基金など) | 92.6 億円    | 余剰分(不足分)      | △591.4 億円  |
| 未収金など        | 27.0 億円    | 純資産合計         | 1,793.5 億円 |
| 資産合計         | 2,503.8 億円 | 負債・純資産合計      | 2,503.8 億円 |

### ②連結行政コスト計算書(≒損益計算書)

| 経常行政コスト            |          |
|--------------------|----------|
| 業務費用               | 325.1 億円 |
| 人件費(職員給与費など)       | 95.9 億円  |
| 物件費など(物件費、減価償却費など) | 216.0 億円 |
| その他の業務費用(支払利息など)   | 13.2 億円  |
| 移転費用               | 578.3 億円 |
| 補助金など              | 263.3 億円 |
| 社会保障給付             | 309.1 億円 |
| その他(補償金など)         | 5.9 億円   |
| 経常費用(A)            | 903.4 億円 |
| 経常収益               |          |
| 使用料・手数料            | 26.6 億円  |
| その他(財産貸付収入など)      | 37.6 億円  |
| 経常収益(B)            | 64.2 億円  |
| 純経常行政コスト(A)-(B)    | 839.2 億円 |
| 臨時損失(災害復旧事業費など)    | 18.2 億円  |
| 臨時利益               | 2.8 億円   |
| 純行政コスト             | 854.6 億円 |

### ③連結資金収支計算書(≒キャッシュフロー計算書)

| 期首資金残高           |          | 75.2 億円 |
|------------------|----------|---------|
| 業務活動収支(収入-支出)①   | 78.3 億円  |         |
| 支出(物件費、補助金など)    | 823.1 億円 |         |
| 収入(市税、国県等補助金など)  | 901.4 億円 |         |
| 投資活動収支(収入-支出)②   | △58.4 億円 |         |
| 支出(公共施設等整備費支出など) | 109.4 億円 |         |
| 収入(基金取崩など)       | 51.0 億円  |         |
| 財務活動収支(収入-支出)③   | △3.1 億円  |         |
| 支出(地方債等償還など)     | 61.3 億円  |         |
| 収入(地方債等発行収入など)   | 58.2 億円  |         |
| 本年度資金収支額(①+②+③)  | 16.8 億円  |         |
| 本年度歳計外現金増減額など    | △0.1 億円  |         |
| 期末資金残高           | 91.9 億円  |         |

### ④連結純資産変動計算書

| 期首純資産残高(令和2年度末残高) |            | 1,817.6 億円 |
|-------------------|------------|------------|
| 純行政コスト(△)         | △854.6 億円  |            |
| 財源(税収等、国県等補助金)    | 854.3 億円   |            |
| 本年度差額             | △0.3 億円    |            |
| 無償所管換など           | △23.8 億円   |            |
| 本年度純資産増減額など       | △24.1 億円   |            |
| 期末純資産残高(令和3年度末残高) | 1,793.5 億円 |            |

### 市民1人当たりでは?



| 連結貸借対照表 |          |
|---------|----------|
| 資産      | 269.8 万円 |
| 負債      | 76.5 万円  |
| 純資産     | 193.3 万円 |

| 連結行政コスト計算書 |         |
|------------|---------|
| 経常費用       | 97.3 万円 |
| 経常収益       | 6.9 万円  |
| 純経常行政コスト   | 90.4 万円 |

※令和4年3月31日現在人口：92,800人で算定

### 連結財務の内訳

#### 薩摩川内市全体

##### 一般会計等

- ・一般会計
- ・天辰第一地区土地区画整理事業特別会計
- ・天辰第二地区土地区画整理事業特別会計
- ・入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計

##### 公営事業会計

- ・水道事業などの公営企業会計
  - ・一般会計等に含まれるものを除く特別会計(国民健康保険事業特別会計など)
- ※公営企業会計の一部の会計は令和2年度決算から連結

##### 一部事務組合

- ・鹿児島県市町村総合事務組合

##### 広域連合

- ・鹿児島県後期高齢者医療広域連合

##### 地方三公社

- ・薩摩川内市土地開発公社

##### 第三セクター

- ・(公財)薩摩川内市民まづくり公社
- ※出資比率が50%以上の団体・法人

### 主な財務書類には以下の4つの表があります

#### ① 貸借対照表

年度末において、市がどれほどの資産を保有しているか、また、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを表したものです。資産と負債・純資産の左右の釣り合い(バランス)がとれている表であるため「バランスシート」とも呼ばれています。

#### ② 行政コスト計算書(≒損益計算書)

一会計期間における行政活動のうち、資産形成につながらない人件費や社会保障などの行政サービスに係る経費(経常費用)と、その行政サービスの直接の対価として得られた施設使用料などの財源(経常収益)を対比させたものです。民間での損益計算書に当たります。

#### ③ 資金収支計算書(≒キャッシュフロー計算書)

一会計期間における資金の流れを示していて、収支の性質に応じて、人件費や物件費など経常的な行政活動のための収支、学校や道路など、有形固定資産形成のための収支、地方債の償還などに係る収支の3つに区分し、どのような活動に資金が必要とされ、どのように賄われたかを表したものです。

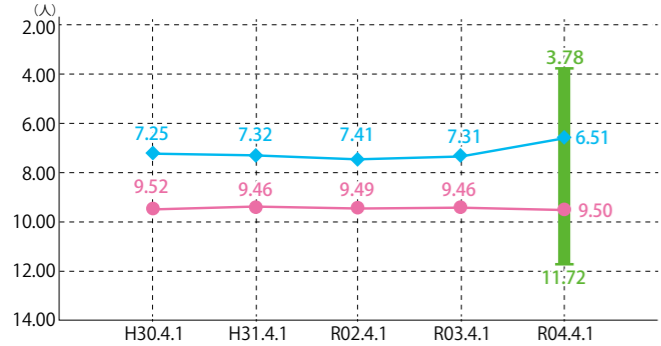
#### ④ 純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部に計上されているものが、一会計期間においてどのように変動したのかを示すものです。純資産とは、資産形成の財源として過去世代の負担や国・県の負担で将来返済する必要のないものをいいます。

④ 定員管理の状況

人口1,000人当たり職員数 [9.50人]

類似団体内順位：102/108 全国平均：8.21 鹿児島県平均：8.97



◎分析と対応

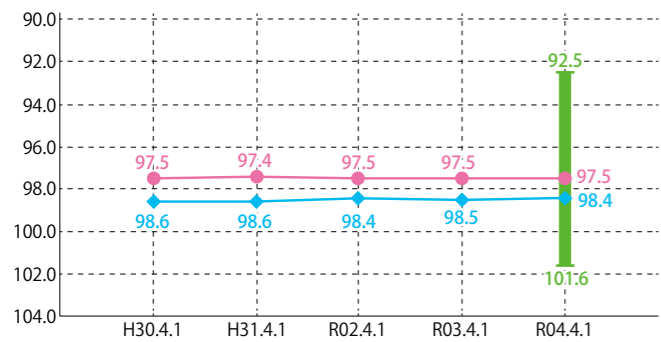
これまで、「定員適正化方針」に基づき適正管理に努めてきたことから、年次的に改善基調にあり、職員数は徐々に減少してきています。ただし、本市が島しょ部を含んでいることおよび面積が広大であることなどの地理的要因と人口が減少傾向にあることから、千人当たりの職員数は依然として類似団体内平均値を2.99人上回っています。

今後においては、新たに策定した「定員管理計画」に基づき、中長期的な観点で定員管理を行い、業務量に応じた適正な配置を求めるなど、効率的かつ質の高い行政サービスを提供していくことを基本とし、職員数の客観的な分析の他、本市の財政状況を踏まえた上で、①総人件費の抑制を基調とした定員管理、②年齢構成の平準化、③持続可能な行政サービスの提供などにより、引き続き職員数の適正管理に取り組んでいきます。

⑤ 給与水準(国との比較)

ラスパイレス指数 [97.5]

類似団体内順位：33/108 全国市平均：98.8 全国町村平均：96.3



【ラスパイレス指数】

国家公務員の職員構成を基準として、職種ごとに学歴や経験年数別に平均給与月額を比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で示したものです。

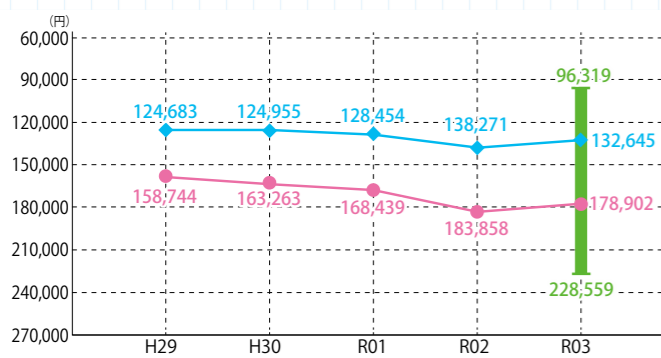
◎分析と対応

前年度と比べて変動はありませんでした。今後においても給与制度などの適正な管理・運用を図っていきます。

⑥ 人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [178,902円]

類似団体内順位：101/108 全国平均：155,088 鹿児島県平均：163,281



◎分析と対応

「定員適正化方針」に基づき職員数の適正管理に努めたことにより人件費は改善していますが、島しょ部を含む地理的条件から、施設の維持管理費に多くの経費を要したことに加え、新型コロナウイルス感染症対応に係る物件費が増となったことにより類似団体内平均値を46,257円上回っています。

今後においても、「公有財産利活用方針」などに基づきさらなるコスト削減を図っていきます。

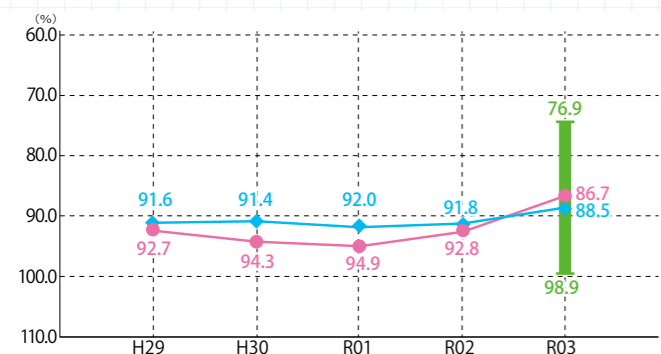
※「人件費・物件費等」とは、人件費、物件費および維持補修費の合計です。ただし人件費には事業費支弁人件費(注)を含み、退職金は含みません。

(注)建設事業などに従事した職員の給与のこと

⑦ 財政構造の弾力性

経常収支比率 [86.7%]

類似団体内順位：35/108 全国平均：88.9 鹿児島県平均：86.3



【経常収支比率】

地方税など毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費のように毎年度経常的に支出される経費に充てられたものの占める割合を示すものです。

この数値が低いほど、臨時的な経費に充てられる財源に余裕があり、弾力的な財政運営が行えるといえます。

◎分析と対応

市税のうち固定資産税償却資産分の増や新型コロナウイルス感染症の影響による経常経費の減があったため、前年度比6.1ポイント改善しており、類似団体内平均を1.8ポイント下回っています。

今後においても、人件費・物件費・維持補修費などの縮減に加え、「公有財産利活用方針」に基づいた施設の統廃合、管理経費の縮減に努め、経常経費の削減に努めます。

令和3年度普通会計決算

市町村財政比較分析表

市町村財政比較分析表は、類似団体(※)との比較分析が容易にできるように、7つの財政指標について、類似団体内平均値を100としたときの本市の指数を表しています。

なお、県内・全国の市町村の状況は、県や総務省のホームページにも掲載されますので、ご参照ください。  
※国は全国の市町村を、人口規模や産業構造などで35のグループに分けています。類似団体とは、その中で同じグループに属する自治体のことをいいます。

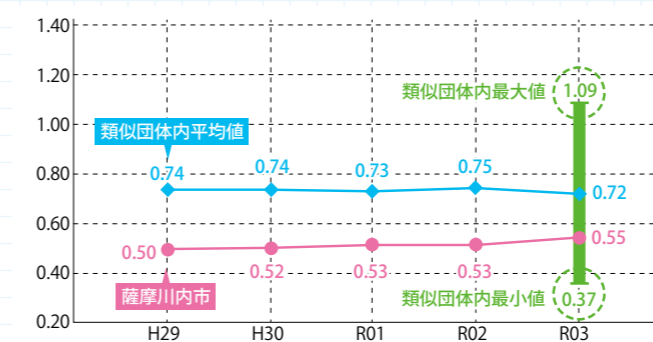
|              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 人口(R4.1.1現在) | 93,176人               |
| 面積(R4.1.1現在) | 682.92km <sup>2</sup> |
| 歳入総額         | 65,616,051千円          |
| 歳出総額         | 62,227,799千円          |
| 実質収支         | 2,870,990千円           |
| 標準財政規模       | 29,568,346千円          |
| 地方債現在高       | 37,268,723千円          |

|             |   |
|-------------|---|
| 実質赤字比率      | -%  |
| 連結実質赤字比率    | -%  |
| 実質公債費比率     | 7.7%  |
| 将来負担比率      | -%  |
| 市町村類型(年度ごと) | H29：Ⅱ-2、H30：Ⅱ-2、<br>R01：Ⅱ-2、R02：Ⅱ-2、<br>R03：Ⅱ-3 |

① 財政力

財政力指数 [0.55]

類似団体内順位：94/108 全国平均：0.50 鹿児島県平均：0.29



【財政力指数】

地方自治体の財政力を示す指数で、標準的な行政活動を行うために必要な経費に対する、標準的に収入しうると考えられる税収の割合を示すものです。

この指数が高いほど、財源に余裕があるといえます。

◎分析と対応

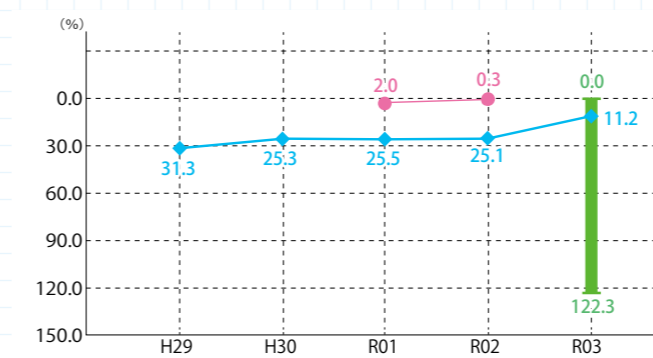
市税のうち固定資産税償却資産分が増となり、基準財政収入額が増したことにより前年度比で0.2ポイント改善していますが、公債費算入などの基準財政需要額が大きいため、類似団体内平均値を下回っています。

今後においても市税などについて更なる収納率の向上に取り組むなど、自主財源の確保に努めます。

② 将来負担の状況

将来負担比率 [-%]

類似団体内順位：1/108 全国平均：15.4 鹿児島県平均：0.0



【将来負担比率】

市債など、将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を、毎年度経常的に収入される財源に対する比率で指標化したものです。

この比率が高いほど、将来的に財政を圧迫する可能性が高いといえます。

◎分析と対応

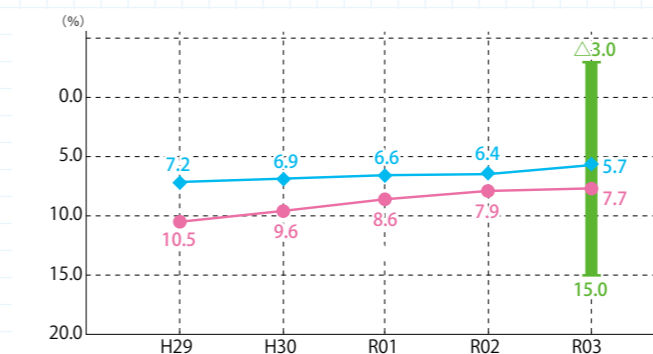
既発債の償還終了に伴う地方債現在高の減、職員数の減少による退職手当見込額の減、充当可能基金現在高の増により、充当可能財源などが将来負担額を上回ったため、将来負担比率が「-」へと改善しました。

今後においても、後世への負担を少しでも軽減するよう、普通建設事業の選択と集中を強化しながら、引き続き健全で安定的な財政運営を推進します。

③ 公債費負担の状況

実質公債費比率 [7.7%]

類似団体内順位：79/108 全国平均：5.5 鹿児島県平均：7.0



【実質公債費比率】

毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費(地方債の元利償還などに要する経費)や、公債費に準ずるもの(公営企業に対する繰出金など)を含めた実質的な公債費相当額に充てられたものの占める割合を示すものです。

この比率が一定の数値を超えると、地方債の発行が制限されます。

◎分析と対応

交付税算入率が高い有利な市債の活用に努めていますが、前年度から公債費は0.5億円増加し、類似団体内平均値を2.0ポイント上回っています。

今後においても起債抑制の方針は堅持しつつ、普通建設事業の選択と集中を強化しながら、公債費の抑制を図っていきます。

生涯学習

「まちづくり出前講座」を活用してみませんか

問合せ／市民活動センター  
（Sプラザせんだい内） ☎(25)6210



生涯学習のマスコット「マナビィ」

「まちづくり出前講座」とは？

市職員が市民の皆さまのもとへお伺いし、それぞれの担当分野（業務）における行政情報などについて必要に応じて意見交換などを行いながら、説明します。まちづくりや防災などさまざまな分野からご希望の講座を選び、申し込みください。

申込方法は？

団体などの代表者は、原則として、開催予定日の10日前までに希望する講座を選び、「講座実施申請書」を申込先へ提出してください。 ※講座実施申請書は、市民活動センター（Sプラザせんだい）に備え付けまたは市ホームページ上に掲載の申請書をご利用ください。

対象は？

市内に居住、勤務または在学している方で、おおむね10人以上で構成している団体・グループなどが対象です。



▲市ホームページ

※出前講座は、生涯学習の支援の一環として開催しているため、陳情や特定の企業の利益につながるものは実施できません。

※講師となる市職員の業務都合などで、開催日程などが希望に沿えない場合があります。ご了承ください。

日時や会場の手配などは？

講座の開催は、平日・休日を問わず、9時から21時までの間で、2時間以内とします。

開催する会場の確保、参加者への周知などは、実施される側で全て手配してください。

※開催場所は市内に限ります。

講師料は？

無料です。なお、別途必要な材料などは、申込される側で事前に用意していただく必要があります。

| 講座番号 | 講座名                     | 講座概要   | 申込先                                    |
|------|-------------------------|--|--|
| 14   | 知っていますか？ ヤングケアラーって      | 本市での実態調査結果を踏まえて、ヤングケアラーとはどのようなものか、またどのように関わっていくべきかを説明します。                                  | 社会福祉課相談 G (内線 2367)                    |
| 15   | 知っていますか？ 成年後見制度         | 成年後見制度と権利擁護センターの役割などについて説明します。   |  |
| 16   | 知って得かも？消費生活             | 消費生活の基礎知識を学び、高齢者を狙った詐欺・悪質商法の手口、若年者に多いトラブルなど、最近のトラブル事例と対処法、消費生活センターの役割について説明します。            |  |
| 17   | 生活困窮者自立支援制度について         | 平成27年度から始まった生活困窮者自立支援制度について、本市の実状や取り組み状況を踏まえた制度内容を説明します。                                   | 高齢・介護福祉課包括支援 G (内線 2676)               |
| 18   | 認知症サポーター養成講座            | 認知症に対する基礎知識や認知症の人との接し方などについて学習し、認知症に対する正しい知識と理解によって、認知症の人や家族への応援者である「認知症サポーター」を養成します。      |  |
| 19   | 介護保険制度について              | 介護保険制度概要やサービスなどについて説明します。  | 高齢・介護福祉課 介護指導 G (内線 2622)              |
| 20   | 健康な体づくりについて             | 大切にしたい体の仕組みを学んで、健康な体づくりを一緒に考えます。   | すこやかふれあいプラザ ☎(22)8811                  |
| 21   | 医療保険制度について              | 国民健康保険および後期高齢者医療制度について、保険制度や医療制度の概要、医療費の適正化、高額医療、健康診査などを説明します。                             | 保険年金課 国保 G (内線 2841) 高齢者医療 G (内線 2831) |
| 22   | 国民年金の手続きについて            | 国民年金に関する届出種類と手続き方法について、資格取得届や種別変更届、免除申請、納付相談、死亡に伴う届出(未支給年金申請・死亡届・死亡一時金)、氏名住所変更などを説明します。    | 保険年金課国民年金 G (内線 2811)                  |
| 23   | そうだったのか！ 「農林漁業の六次産業化」講座 | 農林漁業者が自らの生産物に新たな付加価値を生み出し、販売まで行う取り組み(第1次産業×第2次産業×第3次産業)について、実際に開発された商品などを交えながら紹介します。       | 農業政策課 企画総務・六次化 G (内線 4212)             |
| 24   | 鳥獣被害対策講座                | イノシシ、シカ、小動物などによる農作物被害の防止対策として、鳥獣のことを知り、自分でできる対策から地域ぐるみで取り組む対策まで、講話と映像を交えて説明します。            | 農業政策課農政 G (内線 4222)                    |
| 25   | 地域公共交通講座                | バス・鉄道・船などの利用方法や本市の地域公共交通についてご紹介いたします。  | 経済政策課 企画総務・施設交通 G (内線 5746)            |
| 26   | 次世代エネルギー講座              | 本市の次世代エネルギーを活用したまちづくりについて説明します。  | 産業戦略課産業 G (内線 5763)                    |
| 27   | 燃ゆる感動がこしま国体について         | 本市で開催される正式競技、デモンストラーションスポーツの紹介や、国体を盛り上げるために市民の皆さんと一緒に取り組んでいただきたいことについて説明します。               | 国体推進課国体企画 G (内線 6431)                  |
| 28   | 今後の都市のあり方講座             | 今後の人口減少や少子高齢化などの社会情勢下において、誰にとっても暮らしやすいまちであるための都市のあり方について、市の方針などをお話しします。                    | 都市整備課都市計画・景観 G (内線 3422)               |
| 29   | 木造住宅の耐震診断・改修講座          | 昭和56年5月以前に建築された木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断と耐震改修工事の必要性や補助制度について説明します。                              | 建築住宅課建築指導 G (内線 3643)                  |
| 30   | 空家バンク制度について             | 所有者から登録いただいた市内の空家についての情報を、本市への定住を検討している方や、地域活性化に寄与しようとする方へ情報提供する方法や登録方法などについて説明します。        | 建築住宅課空家政策 G (内線 3635)                  |
| 31   | 住宅の防火・防災対策について          | 過去に発生した火災事例をもとに、ご家庭での火災を防ぐポイントや地震などの自然災害での住宅防火対策について説明します。                                 | 消防局予防課予防調査係 危険物係 ☎(22)0135             |
| 32   | 公民館事業講座                 | 公民館施設の紹介や公民館事業として取り組んでいる市民大学・自主学級などの学習内容・利用方法などについて説明します。                                  | 社会教育課社会教育 G ☎(22)7251                  |
| 33   | 家庭教育事業講座                | 子育てに悩みを抱えている家族のための学習会や子育て中の家族を見守り支えていく「子育てサポーター」を養成する講座です。                                 | 社会教育課青少年教育 G ☎(22)7251                 |
| 34   | 青少年の健全育成講座              | 青少年を取り巻く環境や青少年の健全育成を図っていく上での方策、心構えについて説明します。   |  |
| 35   | 郷土の文化財を知る講座             | 各地域において守り伝えられてきた市民共有の貴重な「地域の宝」である文化財などについて、一緒に学習しながら紹介します。                                 | 社会教育課文化財 G ☎(22)7251                   |
| 36   | 選挙出前講座                  | 選挙の歴史やクイズ、模擬投票を通して選挙の仕組みについて学ぶ講座です。  | 選挙管理委員会事務局選挙 G (内線 1421)               |
| 37   | 「うるおいのまち薩摩川内」下水道講座      | 生活排水を適正に処理する下水道の役割や仕組み、下水道の接続方法、工事費用、受益者負担金、下水道使用料、接続補助金、無利子貸付制度、合併処理浄化槽の補助金制度などについて説明します。 | 下水道室下水道 G ☎(20)8503                    |

| 講座番号 | 講座名                            | 講座概要  | 申込先   |
|------|--------------------------------|---|---|
| 1    | 第2次薩摩川内市総合計画(総合戦略)について         | 市政の総合的な経営指針である第2次総合計画(総合戦略)を基に、これからのまちづくりについて説明します。                                   | 企画政策課政策 G (内線 4832)                                 |
| 2    | SDGs(持続可能な開発目標)の推進について         | SDGsは、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指すための国際目標です。一緒に学習しながら、持続可能で魅力あるまちづくりについて説明します。 | 企画政策課 SDGs・開発 G (内線 4821、4822)                      |
| 3    | 地域コミュニティ、自治会、NPOなどの共生・協働の仕組み講座 | 地域コミュニティ、自治会、NPOなど共生・協働の仕組みについて説明します。   | コミュニティ課コミュニティ G (内線 4612、4613) 市民活動センター ☎(25)6210   |
| 4    | 生涯学習出前講座                       | 薩摩川内市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習の概要、推進について説明します。  | コミュニティ課 生涯学習・ひとみらい政策 G (内線 4741) 市民活動センター ☎(25)6210 |
| 5    | 男女共同参画講座                       | 地域や学校、事業所などで男女共同参画社会の実現(ジェンダー平等)を推進するための講座です。基礎的な知識や市の取り組みなどを紹介します。                   | コミュニティ課 生涯学習・ひとみらい政策 G (内線 4741)                    |
| 6    | 薩摩川内市の財政状況講座                   | 本市の財政状況について、令和5年度当初予算を中心に説明します。   | 財政課財政 G (内線 4731)                                   |
| 7    | 原子力防災について                      | 原子力防災や放射線・原子力発電に関する基礎知識について説明します。   | 防災安全課防災安全 G (内線 4910) 原子力安全室原子力安全 G (内線 4632)       |
| 8    | 自主防災組織結成講座                     | 自治会または地区コミュニティ協議会単位で結成する自主防災組織に関し、組織の必要性や防災活動の進め方、災害時の応急活動の進め方などについて説明します。            | 防災安全課防災安全 G (内線 4910)                               |
| 9    | 一般防災について                       | 大雨・台風・地震への備えや、日頃からの非常持出品の準備および防災マップの見方などについて説明します。                                    |   |
| 10   | ごみ分別出前講座                       | 家庭ごみの分別方法や各種補助制度について説明します。  | 環境課廃棄物政策 G (内線 4341)                                |
| 11   | 住民税のしくみ                        | 所得税、市県民税の概要や制度について説明します。  | 税務課市民税 G (内線 2231)                                  |
| 12   | 固定資産税のしくみ                      | 固定資産税(土地・家屋・償却資産)の概要や制度について説明します。   | 税務課 土地 G (内線 2241) 家屋 G (内線 2251)                   |
| 13   | 避難行動要支援者に対する地域での支援体制づくりについて    | 自主避難が困難な方(避難行動要支援者)に対する地域(自治会など)での支援体制づくりの重要性について説明し、意見交換しながら地域の実情に応じた取り組み方法などを提案します。 | 社会福祉課企画総務 G (内線 2174)                               |